



日本海

日々の様子は学校
ホームページから！

「藤塚小ブログ」は連日更新中！



目標に向かって日頃からコツコツと努力することの大切さ

校長 山田 耕世

10月の全校朝会では子どもたちに主に次の話をしました。

9月29日（金）に新発田・北蒲小学校親善陸上大会が開催されました。藤塚小学校も6年生が出場し、多くの人たちが自分の力を出し切りました。中には入賞した人や自己新記録を出した人もいました。

私が、感動したのは、6年生の中で、休み時間や放課後に進んで練習に取り組んでいた人がたくさんいたということです。休み時間や放課後になると職員室にあるリレーのバトンを借りに来て、コツコツと練習をしている人がいました。また、体育の授業では、自分の走る番が来るまで、何度もクラウチングスタートの練習をしている人がいました。

目標に向かって日頃からコツコツと努力し続けることの大げさについては、FIBA バスケケットボールワールドカップ2023で大活躍をした新発田市出身の富樫勇樹選手も「当たり前前のごことを全力で行うことが重要」と述べています。また、大リーグで活躍をしている大谷翔平選手も「自分の限界を作りたくない」と努力し続けることの大げさを述べています。

目標を設定し、その目標に向かって日頃からコツコツと努力し続けることについては、実は6年生が授業中にも実践しています。今、6年生は、1時間目から6時間目の授業で、挙手の回数をカードに記録し、中学生に向けて頑張っています。何人かの6年生のカードの一部を紹介します。

- ・「9月の目標は、毎日合計15回以上、手を挙げることです。9月を振り返ると、1学期より手を挙げることができ、良かったです。」
- ・「9月の目標は、分かる問題については自信をもって手を挙げられるようにすることです。9月の振り返りとしては、たくさん手を挙げたけど、今度は自信をもっともってたくさん手を挙げられるようにしたいです。」
- ・「9月の目標は、1日30回以上、手を挙げることです。9月を振り返ると、30回以上はできない日もあったけど、いつもよりは意識的に手を挙げることができ、良かったです。」

おそらく、6年生だけでなく、他の学年の人たちの中にも、目標に向かって日頃からコツコツと努力し続けている人がたくさんいると思います。本当に素晴らしいことです。

楽しいことだけが毎日あるわけではありません。時には苦しいこと、つらいこと、途中でやめたくなることなどもあるかもしれません。そのようなことがたとえあっても、逃げ出さず、日頃からコツコツと努力し続けてきたことに誇りと自信をもって、乗り越えていける力をどの子どもたちにも育んでいきたいと思っています。